

## 総 括

2020年のJRDR年次調査結果を総括すると、わが国の慢性透析患者数は347,671人と依然として増加しているが、その増加速度は鈍化している。2021年に透析患者数はピークを迎えるとする予測もあり、この先の患者動態を注視していきたい。透析患者の高齢化はさらに進行し、導入患者の平均年齢は昨年に引き続き70歳を超え、70.88歳、年末患者の平均年齢も69.40歳であった。

原疾患においても、従来の結果と同様であった。導入患者の原疾患は、糖尿病が第1位、2019年以来、腎硬化症が第2位となっている。腎硬化症は導入患者・年末患者とも原疾患の割合の中で増加している。一方、導入患者に占める糖尿病性腎症の割合は減少している。

わが国の透析液の生物学的水質は非常に高くJSDT基準の遵守度も高い水準を維持している。2017年から調査が開始された化学的汚染基準については、化学的汚染物質の測定、残留塩素の測定など本学会の水質基準へのコンプライアンスが徐々に向上していた。

透析モダリティについてはHDF療法の持続的な増加、PDの増加等、多様化が進んでいる。わが国の特色であるPDの併用療法の比率は約20%であり、ここ数年変わりはなくはない。

2020年調査では、新規調査項目として、社会的に最も重大な課題となっている新型コロナウイルス感染症について、透析患者における調査が行われた。透析患者においては3月に初めての陽性患者が報告されたが、その後、感染者数は一般人口と同様の推移を示した。透析患者においては、若年者から致死率が高いという特徴がみられた。腹膜透析患者・非糖尿病患者で、感染率、致死率が低い傾向にあったが、患者背景で調査を行った上での検証が望まれる。

また、2020年調査では、悪性腫瘍の罹患率が調査された。悪性腫瘍の調査は1987年以来の調査である。今回は男女別、部位別に現在罹患中の悪性腫瘍の割合が明らかにされた。男性では6.0%、女性では4.5%の有病率であった。男性では前立腺を含む腎・泌尿器系が、女性では乳腺内分泌系が最も多く、次いで、男女とも消化器系が第2位の割合を占めた。悪性腫瘍に対して早期発見・治療が行われるようになり、死因では明らかにならなかった悪性腫瘍の現状に関する情報が得られた。

2019年に引き続き調査された腎提供の有無について、2020年調査では、腎提供の既往ありと答えた施設に再度問い合わせを行うなど、より厳密に調査が行われた。提供後、透析導入までの期間が短い患者割合が減少しており、調査の正確性が向上したことが示唆される。その結果、最終的に107人の患者が腎提供の既往が有りとなされた。これらの患者についての詳細な評価から、生体腎ドナーの健康に関するより有用な情報が得られることが期待される。

今回、調査した新規調査項目の結果は、いずれも現在の腎代替療法における課題を明らかにした。患者背景因子の調整による、より詳細な検討から、透析患者におけるこれらの疾患・病態の特徴が明確化されることが期待される。

最後に、新型コロナウイルス感染症対応で大変な負担があるなか、例年にもまして詳細なご回答をいただいたことに対して、各ご施設の担当者の方々に深くお礼を申し上げたい。

### ■地域協力員（敬称略）

（北海道）前野七門，（青森）大山 力，（岩手）清野耕治，（宮城）佐藤壽伸，（秋田）佐藤 滋，（山形）伊東 稔，（福島）風間順一郎，（茨城）植田敦志，（栃木）齋藤 修，（群馬）安藤哲郎，（埼玉）小川智也，（埼玉）熊谷裕生，（千葉）寺脇博之，（千葉）林 晃一，（東京）安藤亮一，（東京）阿部雅紀，（東京）柏木哲也，（東京）濱田千江子，（神奈川）柴垣有吾，（神奈川）平和伸仁，（新潟）島田久基，（富山）石田陽一，（石川）横山 仁，（福井）宮崎良一，（山梨）深澤瑞也，（長野）上條祐司，（岐阜）松岡哲平，（静岡）加藤明彦，（静岡）森 典子，（愛知）伊藤恭彦，（愛知）春日弘毅，（三重）小藪助成，（滋賀）有村徹朗，（京都）橋本哲也，（大阪）稲葉雅章，（大阪）林 晃正，（大阪）山川智之，（兵庫）西 慎一，（兵庫）藤森 明，（奈良）米田龍生，（和歌山）根木茂雄，（鳥取）中岡明久，（鳥根）伊藤孝史，（岡山）杉山 斉，（広島）正木崇生，（山口）新田 豊，（徳島）岡田一義，（香川）山中正人，（愛媛）菅 政治，（高知）大田和道，（福岡）田村雅仁，（福岡）満生浩司，（佐賀）池田裕次，（長崎）錦戸雅春，（熊本）宮田 昭，（大分）友 雅司，（宮崎）藤元昭一，（鹿児島）野崎 剛，（沖縄）大城吉則

## 文献

- 1) 中井滋. 日本透析医学会統計調査の歴史. 透析会誌 2010; 43: 119-52.
- 2) 政金生人. 透析療法の動向～統計調査から見えてくるもの～. 透析会誌 2016; 49: 211-8.
- 3) 和田篤志, 新田孝作, 花房規男, 他. WADDA system の使用法と有効活用. 透析会誌 2019; 52: 673-8.
- 4) 厚生労働省, 文部科学省. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」  
[https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1443\\_01.pdf](https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1443_01.pdf) (2021.11.15 最終アクセス)
- 5) 厚生労働省, 文部科学省. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成29年2月28日一部改正）」  
[https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1859\\_01.pdf](https://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1859_01.pdf) (2021.11.15 最終アクセス)
- 6) [https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr\\_view.cgi?recptno=R000021578](https://upload.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000021578) (2021.11.15 最終アクセス)
- 7) 中井滋, 若井建志, 山縣邦弘, 井関邦敏, 椿原美治. わが国の慢性維持透析人口将来推計の試み. 透析会誌 2012; 45: 599-613.
- 8) United States Renal Data System. 2020 USRDS Annual Data Report: Epidemiology of kidney disease in the United States. National Institutes of Health, National Institute of Diabetes and Digestive and Kidney Diseases, Bethesda, MD, 2020.
- 9) 新田孝作, 政金生人, 花房規夫, 他. わが国の慢性透析療法の現況（2017年12月31日現在）. 透析会誌 2018; 51: 699-766.
- 10) 秋葉隆, 川西秀樹, 峰島三千男, 他. 透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準 2008. 透析会誌 2008; 41: 159-67.
- 11) 峰島三千男, 川西秀樹, 阿瀬智暢, 川崎忠行, 友雅司, 中元秀友. 2016年版透析液水質基準. 透析会誌 2016; 49: 697-725.
- 12) 新田孝作, 政金生人, 花房規男, 他. わが国の慢性透析療法の現況（2019年12月31日現在）. 透析会誌 2020; 53: 579-632.
- 13) 厚生労働省, 令和元年（2019）人口動態統計月報年計（概数）の概況.  
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai19/dl/h7.pdf> (2021.11.15 最終アクセス)
- 14) 小高通夫. わが国の透析療法の現況（1988）. 透析会誌 1989; 22: 221-304.
- 15) Zeier M, Hartschuh W, Wiesel M, Lehnert T, Ritz E. Malignancy after renal transplantation. Am J Kidney Dis 2002; 39: 1-12.
- 16) Vajdic CM, McDonald SP, McCredie MRE, et al. Cancer incidence before and after kidney transplantation. JAMA 2006; 296: 2823-31.
- 17) Shebl FM, Warren JL, Eggers PW, Engels EA. Cancer risk among elderly persons with end-stage renal disease: a population-based case-control study. BMC Nephrol 2012; 13: 65.
- 18) Kantor AF, Hoover RN, Kinlen LJ, McMullan MR, Fraumeni JF Jr. Cancer in patients receiving long-term dialysis treatment. Am J Epidemiol 1987; 126: 370-6.
- 19) 日本臨床腎移植学会, 日本移植学会. 腎移植臨床登録集計報告（2020）2019年実施症例の集計報告と追跡調査結果. 移植 2020; 55: 225-43.